

11月14日・15日 中国ブロックにて「保護司のための SST 研修」を開催しました

【中国ブロック】 ホテル JAL シティ広島

講師：野口 卓也氏（SST 普及協会認定講師）、長迫 美和氏（SST 普及協会認定講師）

西山 圭一氏（SST 普及協会認定講師）

参加者：27名（鳥取3名・松江3名・岡山7名・広島8名・山口6名）

まず、SSTの基礎理論についての講義があり、

「聴き方」について、SSTを取り入れない聴き方と取り入れた時の聴き方のデモンストレーションが行われ、続いて、2人1組で「聴き方」の練習をしました。



2人1組で「聴き方」の練習

次に、コインマップについての説明とデモンストレーションがあり、実際に隣の席の人とコインマップを体験しました。



コインマップを体験

その後、問題解決技法についての説明と講師によるデモンストレーションが行われ、「なかなか就職の面接がうまくいかない」等テーマに、実際に2人1組になり、問題解決技法を用いた面接の演習をしました。

2日目は、1日目の振り返りから始まりました。問題解決技法を再確認するために、「面接中の会話が進まない」をテーマに、普段している工夫やこういうのがいいのでは等アイデアを研修生で出し合い復習しました。それをもとに、講師による個人SSTのデモンストレーションが行われ、

2人1組になり保護司役・対象者役を交代しながら、「お酒の誘いの断り方」・「対象者との対応の仕方（沈黙の状態では話が進まない）」をテーマに面接の練習をしました。



Aグループの様子

「昔の仲間に誘われた時の断り方」等
テーマに面接練習が行われました。



Bグループの様子

「仕事を続けるために、改善してほしい
ことを親方に伝えたい」等テーマに面接
練習が行われました。



Cグループの様子

「認識が深まりにくいケースの対応の仕方」
等テーマに面接練習が行われました。



全体で振り返り

その後、3つのグループに分かれ、場面設定してSST演習を行いました。最後に、各グループの代表者が、グループで取り組んだ課題について発表し、2日間の研修が終わりました。

27名の参加者が、10時間の研修を終え、講師からSST普及協会規程初級コースの修了証書が授与されました。